

## 平成21年度自動観測装置による水温と塩分の推移

誌名	岡山県農林水産総合センター水産研究所報告 = Bulletin of the Okayama Prefectural Technology Center for Agriculture, Forestry, and Fisheries Research Institute for Fisheries Science
ISSN	21859183
著者	岩本, 俊樹 高木, 秀蔵 飯野, 浩太郎
巻/号	25号
掲載ページ	p. 56-57
発行年月	2010年11月

## 平成21年度自動観測装置による水温と塩分の推移

岩本俊樹・高木秀蔵・飯野浩太郎\*

Seawater Temperature and Salinity by Data Buoy System in Fiscal Year 2009

Toshiki IWAMOTO, Shuzo TAKAGI and Kotaro INO

キーワード：塩分，自動観測装置，水温

1974年から自動観測装置を用いて牛窓地先の水温を測定しており、このうち10時00分と16時00分の2m層の水温をNHK岡山支局に提供した。また、ノリ養殖業や魚類養殖業などの参考となるよう、水産試験場ホームページに水温経過を掲載した。

また、2005年4月から同地先の0.5m層に塩分計を設置し測定を開始した。

ここでは、平成21年度の水温と塩分の結果を報告する。

## 方法

'09年4月1日から'10年3月31日の間、図1に示した定点に設置した水温・塩分自動観測装置（JFEアレック電子(株)製）を用いて、水温及び塩分を30分間隔で毎日48回測定した。なお、水温は、0.5m、2m及び4mの3層、塩分は0.5mの1層で測定した。

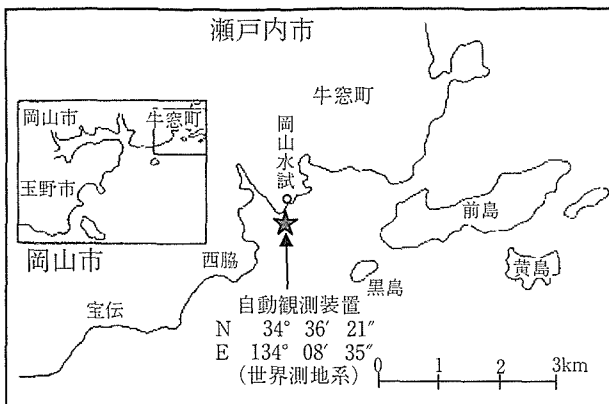


図1 自動観測装置設置図

## 結果

**水温** 水深2m層における日平均水温の推移を平年値（'74年～'03年までの平均値）と合わせて図2に示した。7月中旬まで気温が平年より高め<sup>1)</sup>であった影響を受け、日平均水温は、平年より1～2℃高めで推移した。7月から8月中旬は梅雨前線が西日本に停滞することが多かったため曇りや雨の日が多く、日照時間も少なかったため気温が低く<sup>1)</sup>、日平均水温は平年並みから低めとなった。8月中旬以降も平年並みで推移し、気温が平年よりかなり高め<sup>2)</sup>となった2月の水温は約1℃高めとなった。

**塩分** 水深0.5m層における日平均塩分の推移を平年値（'05～'08年までの平均値）と合わせて図3に示した。

4～6月は、晴天が続いた<sup>1)</sup>ことから、塩分は平年値を上回って推移した。7月後半と8月上旬は梅雨前線の活動が活発になり曇りや雨の降る日が多かった<sup>1)</sup>ため、塩分も低下した。その後9、10月が少雨<sup>1)</sup>であったこと

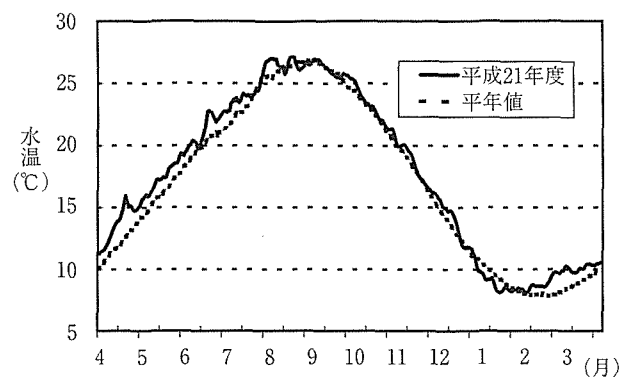


図2 牛窓地先の日平均水温の推移（2m層）

\*現所属：岡山県農林水産部水産課

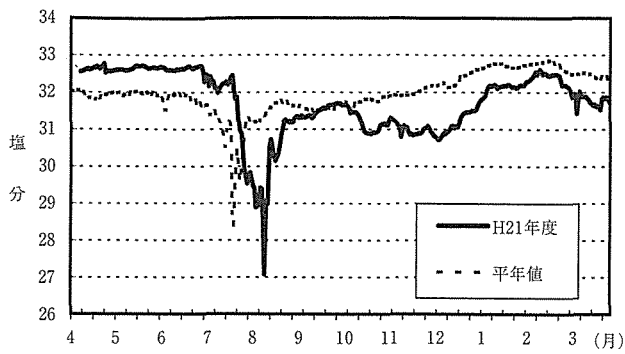


図3 平成21年度牛窓地先の塩分の推移 (0.5m層)

から、平年値並まで上昇したが、11月以降は、降水量が多い月が多かった<sup>1)</sup>ため、塩分は平年値より低めで推移した。

#### 文 献

- 1) 岡山地方気象台, 2009: 岡山県の気象年報, 平成21年, 13-16.
- 2) 岡山地方気象台, 2010: 岡山県の気象, 平成22年1月, 10.
- 3) 岡山地方気象台, 2010: 岡山県の気象, 平成22年2月, 9.